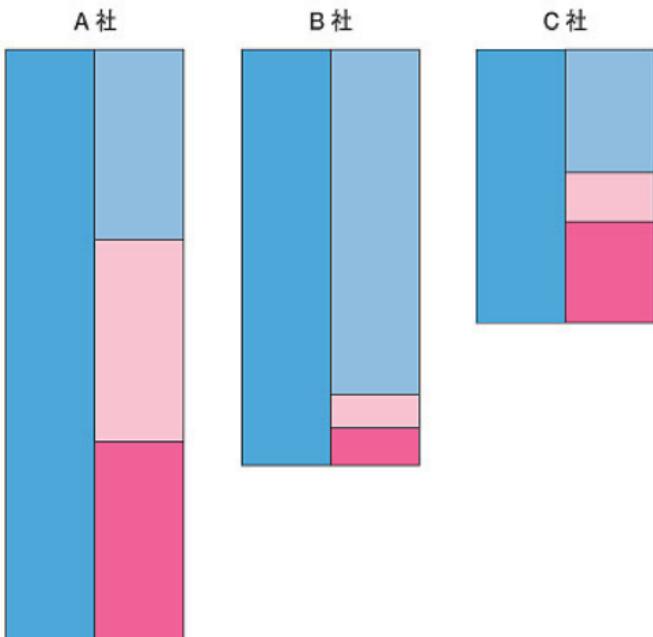


携帯電話対決

(最新版)



次の3社は、携帯電話のソフトバンク、
NTTドコモ、ソフトバンク。
さて、ソフトバンクはどれでしょう？



B / S

P / L

C / S

分析



ソフトバンクは…

B 社

A社:NTTドコモ B社:KDDI

解説

「会計力トレーニング」をすでに読まれた読者は「?」と思われたかもしれません。本のP33にて出題した3社対決の結果と違っているからです。実は書籍の3社対決時点のB/Sは2006年3月決算時点のもの。この本が出版されてから3社は2007年3月期の決算発表を行っています。その最新決算の結果、ソフトバンクのB/Sは前年に比べてかなり大きくなり、KDDIを抜きました(是非書籍と見比べてください)。ソフトバンクのB/Sが突然大きくなった理由はボーダフォンの買収。この巨大なM&Aによってソフトバンクの資産・負債が両建てで大きくなったというわけです。

会計力UP!

近年のように大型M&Aがどんどん行われるようになると、それによってB/Sは大きさは激しく変動します。企業の状況を確かめるためには、すくなくとも5年分くらいのB/Sを見たほうがよさそうです。



M&AによるB/Sの変化が激しい
時代に突入している

DATA ●NTTドコモ:資産61,162負債19,537株主出資20,856剰余金20,769(2007/3) ●ソフトバンク:資産43,108負債35,946株主出資3,510剰余金3,652(2007/3) ●KDDI:資産28,032負債12,661株主出資5,091剰余金10,280(2007/3)

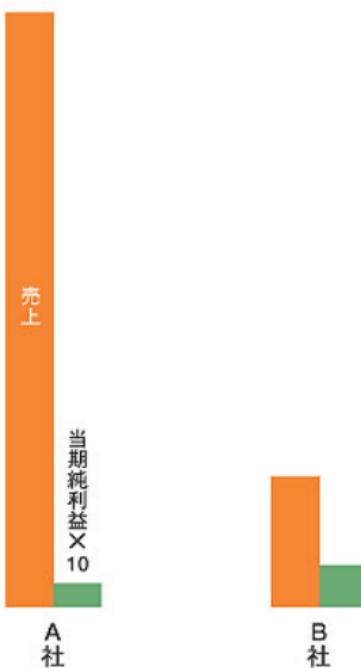
[単位:億円]

「右脳でわかる!
会計力トレーニング」
(日本経済新聞出版社刊)
おまけクイズ

街角対決



次の2社は、街角でよく見かける
マクドナルドとスターバックス。
さて、マクドナルドはどちらでしょう？





マクドナルドは…

A 社

B社:スターバックス

解説

まず売上を比較してみると、マックはスタバの四倍以上の売上をあげています。しかしながら当期純利益はスタバより小さくなっています。これはもちろんマックのコスト構造に問題があるということ。売上に対してコストが掛かりすぎているのです。

今後マックは不採算の小型店に対するテコ入れとして、カフェ事業への進出を検討しているようです。スタバと比較するとわかる収益性の低さがカフェ事業進出の一因なのでしょう。

会計力UP!

マックはたしかにコスト面に問題があるようです。だからといってなんでもかんでもコスト削減をやればいいというわけではありません。コストにも削つていいコストと削ってはいけないコストがあるからです。その見極めこそが会社の将来を決める力ぎになります。



**利益が低い場合、
削減すべきコストの見極めが大切**

DATA ●マック:売上3557億円、当期純利益15億円(2006/12) ●スタバ:
売上789億円、当期純利益25億円(2007/3)

[単位:億円]

「右脳でわかる!
会計力トレーニング」
(日本経済新聞出版社刊)
おかげクイズ

話題の介護対決

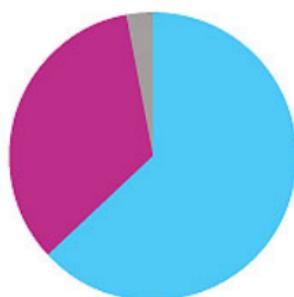
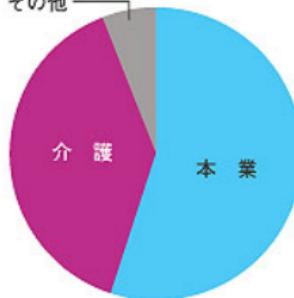


次の3社は、介護事業をめぐるニュースで話題の
グッドウィル、ワタミ、ニチイ学館。
さて、ニチイ学館はどれでしょう？

A社



B社

C社
その他

B / S

P / L

C / S

分析



ニチイ学館は…

C 社

A社:ワタミ B社:グッドウィル

解説

まずワタミ（A社）は、本業の外食事業で九〇%以上の売上をあげており、介護事業の売上は全体の一〇%未満です。これに対してグッドウィル（B社）とニチイ（C社）は本業売上（グッドウィルは人材派遣など、ニチイは医療関連）と介護売上の比率も似ています。両社ともに介護事業の売上割合は全体の三〇%強といったところ。ほんの少しの差ですが介護事業の売上が最も大きいのがニチイです。グッドウィル介護事業はニチイへの引き継ぎが決まりました。これによって来年以降の状況は大きく変化していきます。

会計力UP!

このデータは各社が有価証券報告書にて公表しているセグメント情報から判明します。このほかセグメント情報を見れば各社の営業利益のデータも見ることができます。広範囲にわたって事業展開を展開する現代企業を分析するには欠かせない情報です。



事業別の売上・利益は セグメント情報で判明する

DATA ●A社:本業904億円、介護67億円、その他11億円●B社:本業1172億円、介護636億円、その他49億円●C社:本業1109億円、介護780億円、その他135億円

[単位:億円]

「右脳でわかる!
会計力トレーニング」
(日本経済新聞出版社刊)
おまけクイズ